

No. 4 : FOOD TAIPEI 出展 ～本県から2社 海外へ意欲～（令和5年7月25日）

6月14日から17日にかけて、台湾・台北で台湾最大級の国際総合食品見本市「FOOD TAIPEI 2023」が開催された。県は、日本貿易振興機構（ジェトロ）が設置したジャパンパビリオンに出展し、私が現地でブース運営を行ってきたため、今回はその結果をレポートしたい。

台湾への2022年の輸出額は1,489億円、中国、香港、米国に次ぐ第4位の農林水産物の輸出先である。東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響により、本県の食品（酒類を除く）の輸入が長らく停止され

ていたが、同年2月21日以降、キノコ類や野生鳥獣肉等を除き、放射性物質検査報告書および産地証明書の添付を条件に輸入停止が解除された。こうした動きを受け、台湾への販路開拓・拡大を目指す県内企業などを支援するため、同年に続き2年連続でFOOD TAIPEIに栃木県ブースを構えたところである。

今年の本県ブースには2社が出品し、そのうちの1社、べっこうあめの製造販売を行う「野州たかむら」（茂木町）は海外への輸出に意欲的であり、台湾も重要な市場の一つとして捉えていた。

同社は、主力のどうぶつべっこうあめに加え、和べっこうあめ、アロマジュエル、ハーバルキスといったバラエティー豊かなあめ商品を出品。ジェトロ輸出プロモーターの支援を受けてディスプレイに工夫を凝らしたことも功を奏し、多くの来場者の目を引いていた。会場では積極的に来場者からアンケートもとり、今後の商品開発に役立つようなデータを収集できたようである。

本県ブースに出品した2社は、輸出商社、物流事業者、小売事業者、レストラン関係者、ホテル関係者、シェフなど、4日間で100社以上のさまざまな職種の方の訪問を受けるとともに、ブース内でかなり具体的な商談まで行う様子もうかがえた。既に大手小売店から注文が入るなど、早くも成果が出ているようでうれしい限りである。

県は、海外への販路開拓・拡大を目指す県内企業などを支援するため、見本市出展だけでなくセミナー開催や補助事業など、さまざまな施策を実施している。海外への販路開拓・拡大を検討される際には、ぜひ一度、お気軽に県国際経済課にお問い合わせいただきたい。



【「FOOD TAIPEI 2023」に出展した本県
ブース=6月14日、台北】

（県香港事務所長 如木啓之）